

常任委員会

Q & A

3月4日に総務文教委員会、5日に経済建設委員会を開催し、関係議案について審議しました。以下は主な質疑の内容です。

に査定するのか。

A 業務代行予定者が、工事に入る段階の年度で一斉に減免手続きを行います。

Q 青少年問題協議会設置条例について、第8条で専門委員を置くことができるようになっていて、これはどういうものか。

A 特別な問題等が発生した場合に、専門家や県の専門機関等も含めた委員会を設置して、その対応を協議することになります。

Q 平成26年度から消防団員の退職報償金が引き

上げになるが、長年、日夜大変な努力をされ退団する消防団員に対して、平成25年度から適用できないか。

A 今回、上位法の改正によって、退職報償金が引き上げになるが、県で統一して実施することをご理解をいただきたい。

Q 圏央道に周辺開発に伴う今回の税条例の一部改正の固定資産税の減免規定ですが、地権者全員が一斉に固定資産税の減免を申請しても、業務代行予定者が一斉に土地の整備に移行するのは難しいのではないかと。その際の減免申請を、どのよう



Q 区域外下水の排除について、町長は公共下水道の管理上支障がないときは排水区域外の下水を公共下水道に排除することを認めるとあるが、管理上支障がないときとは、どういうことか。

A 下水道本管が前面にあるということ、それに接続できるということが認める条件になります。

Q 農業集落排水処理については、戸数の規模によつては加入できなくなる場合もあるが、その場合、何らかの対応が必要ではないか。

A 大福田の処理施設の容量がやや一杯になってきております。人口減少が進む中で、処理施設について、近隣市町の動向を調査しながら、対応を検討していきたい。

Q 箱苗処理の補助金の予算の減額が計上されたが、箱苗処理の数が減ってきているのか。

A 病害虫の補助金対象者は、昨年度と同じ人数であり、対象面積は昨年度より若干増加している

ことから、当初から防除を試みているものと思います。また、昨年度の使用期限前の薬剤を持つている方もいることから、少しずつ浸透してきていると考えています。

Q 町道側の道の駅の入口を工事しているが、町道5号線の関係ですか。

A 現在、新4号国道からの出入は信号機処理をしています。工事完了後、道の駅から宇都宮方面に出る場合、町道5号線を経由することになります。現状では、大型車では回りきれないため、国の所有地の部分で工事を行っています。

Q 下水道などの委託料の入札差金が大い理由

は。
A 今年度は、平成25、26、27年度の3年分をまとめた包括委託契約を締結したことから、大幅な入札差金が発生したところでです。

Q 水の需要について、キッコーマン・ソイフーズを誘致し、期待する部

分が大きいわけですが、現在の状況は。

A 当初は500立方メートルと言われていましたが、現在平均して日量300から350立方メートルで、最大でも50

予算特別委員会

Q & A

3月6日・10日・12日の3日間にわたり、予算特別委員会を開催し、平成26年度各会計予算を集中審議しました。

以下は主な質疑の内容です。

Q 消費税の増税に伴う地方消費税交付金の増額分は、社会保障施策に要する経費に充てるとのことであるが。

A 増額分の2,584万円は、社会福祉分野に1,476万円、社会保険分野に950万円、保健・衛生分野に158万円を充当します。

Q アベノミクスによる町税増収という見通しのもと、地方交付税が減額

0立方メートルには届かない状況です。現在1ラインが稼働ということですが、順次拡張していくとのことです。町としては大いに期待しております。

されているが、町税増収にならないければ、大変な打撃になるのでは。

A 財源不足を補うために、臨時財政対策債2億5,000万円を予定しています。これは、地方交付税減額の穴埋めとして、地方公共団体自らの地方債を発行させる制度です。

Q 借金を返すペースが速いと思うが、その背景は。

A 実質公債費比率（自治体の収入に対する負債返済の割合）が15.3%の本町は県内でも5番目に高い位置にあり、借金は多い方だということを理解してほしい。